

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立北部中学校

## 【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びを実現するタブレットの活用

### 総合的な学習の時間(縦割り総合)

**北部中での総合的な学習の時間**

**学年総合**

- 1年生 集団宿泊教室(阿蘇)に向けた学習 など
- 2年生 ナイス・トライ・修学旅行に向けた学習 など
- 3年生 Future Creators(探究学習)・進路学習 など

**縦割総合**

- 前期北部SDGs (2・3年生)
- 後期北部SDGs (1・2年生)

グループング: 委員会の割り振りを活用  
(学級委員会は別の委員会て学習をします)  
授業担当の先生: 委員会の担当の先生

**北部SDGsの学習計画(前期)**

次	日	曜日	時	学習活動	備考
0	5/24	水	⑤	ガイダンス	本会学年一斉オンラインガイダンス
1	5/24	水	⑥	課題発見①	
2	5/31	水	⑥	課題発見②	
3	6/7	水	⑥	課題設定①	
4	6/14	水	⑥	課題設定②	
5	6/28	水	⑥	情報収集①	
6	7/5	水	⑥	情報収集②	
7	7/12	水	⑥	情報整理・分析①	
8	7/19	水	⑥	情報整理・分析②	
9	7/26	水	⑥	課題解決の確証	
10	9/20	水	⑥	課題解決への報告作成	
11	9/27	水	⑤⑥	コース内発表会	本学発表会での発表場を通じ
*	9/29	金	②-④	前期学習発表会	本各コースの代表者が発表

学年や学級にとらわれず、自ら見出した課題を追究する総合的な学習の時間で、すべての活動場においてタブレットを活用する。操作スキル等は、教師主導ではなく生徒同士で学び高めあう。発表は、校内オンライン。コンテスト形式で行う。

### 個別最適な学び(学習の個性化)





個に応じた学習課題や学習活動を提供するためのカリキュラムマネジメントが大切。「何を学んだのか」以上に「学びどう活かすのか」を意識させて課題に取り組ませる。自らの学習をより最適なものに自己調整する力を育成するのが目的。

### 協働的な学び(企業とタイアップ、分業制)

**取り組み**

〈内容〉  
熊本の食材(あまなつ)を使った簡単にできるドーナツ棒のレシピを考える

↓

〈効果〉 地産地消に貢献する

地元企業に協力していただきました



地域の団体や企業とタイアップしての学習活動や、プログラミング担当やプレゼン担当など分業での学習活動など、多様な他者との協働を通じて学びを深める。また価値観の相違や課題の一致など活動を通して他者を尊重する態度を身につける。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立北部中学校

## 【取組内容②】 オンラインメッセージの実施

## 外部講師オンラインメッセージ



総合的な学習の時間の単元導入時におけるモチベーションアップやタブレットのアプリ活用（生成AI導入）を目的に、全校生徒に向けて発信を行った。写真左は熊本市北区区長。写真右は民間企業から招いた講師と本校スタッフ。

## 生徒会オンラインメッセージ



感染予防対策や時間短縮の観点から、生徒集合型の集会からオンラインでの発信が定着化している。6月に行われた生徒総会もオンラインで行った。また緊急性がある場合も活用した。写真は、自転車事故防止を訴える安全委員会スタッフ。

## 定例オンライン講話



毎月第1火曜日の朝、学校長からのオンライン講話を開催している。月ごとにテーマを決め、担当職員との対話形式で「生徒に考えさせ、振り返させる」内容を発信している。

内容は次のとおり。（5月）学校教育目標と情報モラル（6月）道徳と朗読（7月）校則改正（9月）人権（10月）進路（11月）生成AI

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立北部中学校

## 【取組内容④】対話的・協働的な業務対応の推進を目指した情報共有アプリケーションの活用

### 朝会シート(全体への連絡事項)

期	開催日	内容	担当	出席者	議題	内容	出席	備考
リマインド	1月26日(金)	1月22日(月)	1月23日(火)	1月24日(水)	1月25日(木)	12.22(金)	データ	

  

期	開催日	内容	担当	出席者	議題	内容	出席	備考
リマインド	1月26日(金)	1月22日(月)	1月23日(火)	1月24日(水)	1月25日(木)	12.22(金)	データ	

職員朝会は週2回。全体への連絡はすべて朝会シートに事前に記入しておく。時間短縮のため基本発言はなし。タイトルは「お知らせ」「お願い」「重要」「リマインド」の4パターン。緊急性のあるものは各担当のチャットに投稿する。

### 校務分掌フォルダ(常に最新版を共有)

名称	更新日時	更新者
00 連絡	2023年4月20日	
01 教務部	2月15日(木) 新入生保護者説明会資料	1月18日
02 研究部	2023年4月20日	
03 施設整備部	2023年4月20日	
04 職業教育部	2023年4月20日	
05 事務部	2023年4月20日	
06 総務部	2023年4月20日	
07 保健デザイン部	2023年4月20日	
08 体育	2023年4月20日	
09 音楽	2023年4月20日	
10 部活動	2023年4月20日	
11 委員会	2023年4月20日	
12 緊急連絡	2023年4月20日	
13 体育指導チーム	2023年4月20日	
14 体育指導チーム	2023年4月20日	
15 体育指導チーム	2023年4月20日	
16 体育指導チーム	2023年4月20日	
17 体育指導チーム	2023年4月20日	
18 体育指導チーム	2023年4月20日	
19 体育指導チーム	2023年4月20日	
20 体育指導チーム	2023年4月20日	

日課や時間割、週行事等は、各フォルダに原案を格納し、要望や意見が出れば随時アップデートを行う。よりよい職員間のコミュニケーションを図るため、要望や意見は、その内容に応じてチャットか口頭かを個人で判断して行っている。

### 会議シート(同時編集で意見交流)

期	開催日	内容	担当	出席者	議題	内容	出席	備考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								

校内研修や校務分掌部会で、短時間で職員相互の交流を図るのが目的。お互いの考えや各担当の思いをシートで確認しながらアウトプットすることで、よりよい意見が出やすい。また会議後、集約したりまとめる必要もないのがメリットである。

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立北部中学校

## 【取組内容⑤】 本校の研究に関する地域内外の発信

### 研究発表大会(事前に実践動画を配信)



研究発表大会はオンライン参加型。限られた時間内で学びを共有するために事前に参加者に実践動画を配信。そのため早い段階から教育センターの指導主事を派遣してもらい、全職員で動画編集スキルアップの研修を重ねた。

### 研究発表大会(全職員でオンライン対応)



100名を超える参加者の方々に「参観者」ではなく「学び手」として参加してもらえるよう、全職員が一人で司会・進行・記録を務め、小集団での討議を通して学びを深めた。情報通信技術支援員のサポートの中、チームとして運営を行った。

### 海外との交流

自己紹介

**宮田健瑠**

武蔵中学校  
↓  
ルーテル学院高校  
↓  
ISU 情報工学専攻4年生  
#全学留学生会幹部  
#全台湾大学サッカー選手権6位  
#TOEIC870(英語)  
#TOCFL C1(中国語)

課題

台湾華語と北京語の違い

漢字	キーボード	表現
繁体字VS簡体字	注音 VS 拼音	例おはよう
 難 = 难 歡 = 欢 雞 = 鸡		

1年生で行っている台湾の中学校との交流授業では、事前学習の一環で、台湾に在住する郷土の先輩からオンラインでガイダンスを受ける。「教室からリアルタイムでできる国際交流」の新しい形として、世界の多様性を学ぶ予定である。